

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北陸新幹線飯山駅プロジェクト
事業主体 (連絡先)	北陸新幹線飯山駅プロジェクト実行委員会 (飯山市役所総務部企画財政課 0269-62-3111 (内線394))
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,426,972円 (うち支援金: 4,159,000円)

事業内容

2015年3月の北陸新幹線飯山駅開業を契機に新たな観光産業振興にむけて、地域の知名度を向上させることが急務となっています。また悲願であった開業を市民自らの手で盛り上げ地域の機運醸成を図ることも必要となっています。そこで開業200日前の2014年夏に、他には例のない注目度の高いPRイベントとして“新駅での3Dプロジェクトマッピング”を観客参加型で実施し、マスメディアやSNSを通じて全国・全世界へ情報発信するとともに、産官学・市民との協働による開催運営で地域を盛り上げました。

- ・1回10分のマッピング映像を一晚に5回上映
- ・駅のガラスには市民手作りの紙のスクリーンを設置
- ・200日前パネルを市民が各地で撮影当日映写

事業効果

- ① マスメディアやSNSを通じて飯山駅の名称を露出したことで知名度があがった。
- ② 飯山駅とその周辺観光地のイメージ向上につながった。
- ③ 市民を巻き込んだことにより新幹線事業へのかかわりが身近に感じ開業を盛り上げる動きが出た。
- ④ 住民によるまちづくりが盛んになり始めた。

今後の取り組み

本プロジェクトで制作された映像成果物は、他の開業PRイベントにおいても使用できるよう汎用性をもっており、飯山駅開業PRと併せ日本のマッピング技術の好事例として企業や教育関係者へも広く紹介していきたい。



【小中学生と紙のスクリーンづくり】
【開業200日前を盛り上げる成人式】

【目標・ねらい】

- ① 北陸新幹線飯山駅の認知度
- ② 開業後の来訪意向向上
- ③ 開業に向けた機運醸成
- ④ 地域の協働まちづくり

※自己評価【A】

【理由】
悪天候にもかかわらず12,000人の観客が訪れたことや、SNSにおいて地域の方が全世界へ飯山駅を発信していただいた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある